

医学的根拠（ガイドライン等）

国立がん研究センター ————— 胃部内視鏡は「2年に1回」の実施が推奨

厚生労働省 胃がん検診指針 ————— 胃部内視鏡は50歳以上「2年に1回」を基本としている

日本胃癌学会 ————— 毎年の内視鏡検査は推奨しておらず、50歳以上「2年間隔の健診」が標準

日本消化器がん検診学会 ————— 検査間隔を延ばしても死亡率減少効果は保たれ、逐年より偶発的リスクを抑えられることから、50歳以上「2年に1回」とした

偶発的リスクとは⇒検査中に意図せず発生する合併症を指し、主に出血、穿孔、感染などの消化管損傷や全身反応。

※ 現在、東京都内の市区町村にて、40歳以上から内視鏡検査を推奨、実施している自治体はなく、50歳以上隔年（2年に1回）において約3,000円前後の自己負担にて実施または無料実施している自治体が主流です。（23区内訳：無料11区・有料12区）